

病院だより

市民病院医事課

☎43-2511(代表)

経鼻内視鏡を導入しました

消化器科で行っている治療

消化管全般と肝臓・胆のう・膵臓の疾患に関する治療を行っています。

内視鏡やレントゲン、超音波などを使って、診断や治療を行っています。治療に使う機器や診断・治療技術の進歩に伴い、より高度な診断や治療が行えるようになりました。

なかでも、平成18年11月に導入した64列マルチディテクタICTは、従来のCTに比べ、非常にきれいで立体的な撮影ができるようになったため、さらに精密な診断が可能となりました。



経鼻内視鏡検査を行っています

経鼻内視鏡（鼻から挿入する胃カメラ）は、口から通す従来の経口内視鏡に比べ、約半分の太さの5.2ミリで、左右いずれかの鼻の穴から食道、胃へとスムーズに通していただくことができます。

内視鏡が舌の付け根を通らず、のどに触れることがないため、挿入による不快感や吐き気をほとんど感じることもなく検査を受けることができます。



検査前に鼻腔の麻酔を行うため、鼻の痛みもほとんどありません。

鼻から挿入することで、口を自由に動かすことができ、検査中でも医師やスタッフと会話ができるため、リラックスして検査を受けられます。

検査の目的や患者さんの状態によっては、従来の内視鏡を使用した経口内視鏡検査の方が望ましい場合があります。経鼻内視鏡検査を希望される方は、ご相談ください。



経鼻内視鏡検査、経口内視鏡検査の費用（保険適用（3割負担）の場合） 3,500円程度/回（診療費などは除く）



Let's Enjoy EcoLife ライフ
～フードマイレージ～

環境政策課環境企画係 ☎44-3135

皆さんは、自分が食べている野菜や魚、肉などの食べ物、どこから来て、それらが運ばれる過程でどれくらいの二酸化炭素が排出されているか知っていますか。

知っていますか？「フードマイレージ」

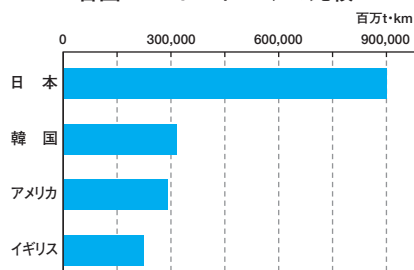
フードマイレージとは、食料の輸送に伴って排出される二酸化炭素も地球環境に負荷を与えるという考えから表された指標です。食料の重さに輸送距離を掛け合わせた値で負荷の度合いを表します。

他国と比べて日本のフードマイレージの値は大きい？小さいの？

日本の1年間のフードマイレージ

の値は、他国と比べると飛び抜けて大きくなっています。日本は、輸入品の多くをアメリカやカナダなどの遠い国から長い距離を運んでくるため、フードマイレージの値は大きくなり、環境への負荷が大きいことがわかります。

各国のフードマイレージの比較



農林水産省 2001年データより

環境への負荷を減らそう

現在、日本の食料自給率は、4割を切り、私たちの食は、石油を使って運ばれてきた輸入食材に頼っていますが、フードマイレージの考え方は、地域でとれたものや国産のものを使うという「地産地消」や「食育」にもつながっていきます。

食料を購入する時の判断基準に、味や価格、安全性だけでなくフードマイレージを加えましょう。私たちが口にしている食べ物と地球環境のつながりに目を向けることが、地球環境への負荷を減らす一歩につながります。